

12月28日の大倉尾根から表尾根は、雪もなく、寒波によるシモバシラも目立つほどでもなく乾燥した登山道でした。

今年一番の寒さとなった12月15日、朝の丹沢の稜線は遠目では白く染まっていたましたが、あれから晴天が続き、消えてしまったようです。

蛭が岳方面も、山頂付近が霧氷の様にまばらに白くなっているくらいで、丹沢の雪の稜線歩きはまだまだのようです。

三ノ塔からの逆光の墨絵のような富士山がグッドでした。富士山の両裾野まで大画面で見れるスポットの一つではと思うのですが。

三ノ塔尾根から、水無川にかかる風の吊り橋へ下る階段に、枯れ落ちたもみじ葉で幾つものハートマークが作られていました。

風の吊り橋の二本の橋脚アーチのなかを夕陽が沈む様子を見ることができました。この時期のタイミングなのかもかもしれません。

登山者は平日でしたが、少人数の若者のパーティが目立たないように思います。 以上